

業 継続シアリ之カ為小樽港及手宮駅ニ於ケル石炭其  
 他ノ荷物ノ船積、陸揚、台車積卸ノ作業殆ンド停止セ  
 リ目下ノ所何日間罷業継続スヘキカ其ノ他前途ノ見込立タス  
 尚全地水陸両警察署ニ札幌ヨリ應援警察官五十名ヲ派  
 遣シ極力警戒中ナルカ今日迄暴挙ニ出タル者尋ナシ委細本  
 日書面ニテ報告ス

労働課長

事務主任

昭和二年六月二十二日午後七時四十分

北海道長官宛

社会局長官宛

電文 詳

小樽港に於ける労働争議の目下の状況左の如し

水陸運輸作業は茲数日間に至る内、海沿に行はるるに  
 至る定込たり即ち内地船人夫、陸仲作、倉庫人夫、石炭  
 人夫との各等時便用の名ニシテ三名に二内一ニ五一名同  
 盟罷業をなしあり別に運輸関係自由労働者約一五〇〇  
 名あり二内七〇〇名罷業に参加しあるが之を補充する為  
 他の地より仕入の労働者順次到着する等の事由によ  
 リ昨二十一日夕刻には前記船、陸、倉庫、石炭等の各種  
 人夫一三三名を擁護しあり自由労働者も相当地

2. 6. 23  
 941